

<b>A7653</b>	<b>209系3100番台 八高線 4両セット</b>	<b>予価:19,500円(税別)</b>
		JANコード: 129494 カートン内入数: 12

<b>A7661</b>	<b>209系2100番台 房総仕様 6両セット</b>	<b>予価:23,500円(税別)</b>
		JANコード: 129579 カートン内入数: 12

**商品形態** Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

**実車** 209系3100番台は2005(平成17)年に登場したグループで、東京臨海高速鉄道で活躍していた70-000系をJR東日本が購入し改造した車両です。車体帯・前面塗装の変更の他、半自動スイッチの取り付け、ラジオアンテナの取り付けが行われた程度で70-000系の面影を残しています。また、先頭車4両は全て70-000系初期車から改造されたため、ドア窓の形状が他の209系とは異なるなどの特徴があります。現在も八高線の八王子～高麗川、川越線の高麗川～川越間で活躍を続けています。製品は中間車も70-000系から編入改造された川越車両センター72番編成です。  
JR東日本房総地区では電化開業以来主に113系がローカル輸送の主役として活躍してきましたが、それらの後継として京浜東北線で使用されていた209系を改造の上で投入することになりました。先頭車のセミクロスシート化、中間車1両(2号車)へのトイレ取付、主制御装置・補助電源装置の更新、行先表示器のLED化、大型スカート取付などの大掛かりな改造が行われました。2009(平成21)年10月より営業運転を開始し、2011年度中には幕張車両センターに合計で324両が投入され、既存の113系・211系を置き換えています。

**商品概要**  
・マイクロエース通勤型電車シリーズの更なる充実  
・ヘッドライト、テールライト、前面行先表示器点灯。LED使用  
・フライホイール付動力ユニット搭載

**元りんかい線70-000形。オレンジとグリーン帯**



- ・初期型(先頭車)、後期型(中間車)を作り分け
- ・足元を引き締める波打車輪装備



編成図 A7653

クハ209 -3102	モハ209 -3102	モハ208 -3102(M)	クハ208 -3102
----------------	----------------	-------------------	----------------

ライト

ライト

JR東日本商品化許諾済

**ブルーとイエローの帯。房総仕様**



- ・新津製車体を新規作成
- ・機器更新された床下機器を新規作成
- ・モハ208-2104はトイレ付車体
- ・足元を引き締める波打車輪装備



編成図 A7661

クハ209 -2102	モハ209 -2103	モハ208 -2103(M)	モハ209 -2104	モハ208 -2104	クハ208 -2102
----------------	----------------	-------------------	----------------	----------------	----------------

ライト

ライト

←安房鴨川・銚子・鹿島神宮

千葉→

JR東日本商品化許諾済

**オプション** 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001

**付属品** 行先シール